



ますます・いよいよ… 縮こまっていた花や木草が いっせいに成長する月

自主・自律・成長

## 3月 弥生「探る」

～考えられる最もよいやり方を探り続け 課題解決を～

- 「弥生」の漢字「弥」(いや)は、「ますます・いよいよ」という意味があり、「生」(おい)には、「草木が芽吹く」ことを意味する漢字が使われています。語源としては、3月になると少しずつ春が近づき始め、冬の間は縮こまっていたたくさんの花や木草がいっせいに成長する月なので、「木草(きさ)弥(いや)生(お)ひ茂る月」が、「弥生」(やよい)と詰まって呼ばれるようになったと言われています。
- 仰木中 Version の3月のキーワードは「探る」です。  
学年や学級で、また生徒会活動や部活動等で、これまで挑戦してみたもののうまくいかなかったとか、今ひとつ満足できていないとか、中途半端で終わってしまっているというような人はいませんか。また、人間関係でも、ギクシャクしたまま時が経ち、しだいに距離ができてしまって、関係修復のタイミングをつかめずにいる人はいませんか。  
あと数日で3学期が終わります。今、自分が直面している課題(問題)の要因は何かを自分で考え、知恵を働かせ、最もよいやり方を探り続けることで、その解決を図ってほしいと思います。  
『たくましく、何事もとことん最後までやり抜く』そんな心と体をもった仰木中生のさらなる成長を願っています。

- 「大体できた」を積み重ねてもゴールにはたどり着けません。
- 大抵の人は、今こうすると将来どうなると考えますが、成功する人は、将来こうありたいから今こうすると考えます。
- 人の歩みをとめるのは、絶望ではなく「諦め」。人を歩き続けさせるのは、希望ではなく「意志」です。

### 『本当の仲間』

辛いことも  
楽しいことも分かち合い  
一緒に泣いて一緒に喜び  
ときにはライバルとなり  
切磋琢磨して互いに高め合い  
ダメなときは指摘してくれて  
互いに足りない所を補い合い  
ずっと同じ方向を向いて  
目標に向かって進んでいく  
どんなに遠く離れたとしても  
どんなに時が流れたとしても  
いざというときには  
全力で支え合い  
最後までそばにいるのが  
本当の仲間

—「そのままがいい」 田口久人 著—

何でも、早くできるようになること。  
それが成長だと信じて  
がんばってきた。  
でも、ちがった。

### 成長

何でも、  
真心をこめてできるようになること。  
それが、成長だった。 (作者不詳)

### 2年 生命の学習「一次救命処置講習」



▼2/10(月)、大津北消防署の方に来ていただき、2年生が心肺蘇生法(胸骨圧迫)とAEDの使い方について教わりました。▼「あっぱくん」というトレーニングツールを使って胸骨圧迫の仕方を体験しました。

### 『本当の成長』

許せなかったことも  
許せるようになって  
過去の自分を  
認められるようになって  
できないことは  
頼れるようになり  
まわりの悩みも  
理解できるようになり  
感謝できることが増えて  
何度も壁にぶつかり  
そのたびに乗り越えて学んで  
いつしか自分の軸が生まれて  
理想の自分に一歩ずつ進んでいく  
誰かに言われるものでもなくて  
自分で感じとるもの  
生きているかぎり 人は成長する

—「きっと明日はいい日になる」 田口久人 著—

### 3年 生命の学習「愛する命 愛される命を大切にしよう」

- ▼2/28(金)、3年生の生命の学習は、性に関する諸問題に対して適切に対処するとともに、よりよい家庭や社会づくりに向けて、責任ある行動を実践できる力や、自己や他者を尊重し、望ましい人間関係を築くことができる力を育てることを目的として実施しました。▼助産師の岡本美佐江様を講師にお迎えし、命の尊さや赤ちゃんを感覚的に知ることで保護意識が持てるようこと、「妊婦体験」や「赤ちゃん抱っこ体験」等も実施していただきました。

